

# 令和2年度 第2回金谷区地域協議会

## 次 第

日時：令和2年6月12日(金)午後5時～  
会場：福祉交流プラザ2階 第1会議室

### 1 開 会

### 2 議題等の確認

### 3 議題

(1) 令和2年度地域活動支援事業について

### 4 報告

(1) 令和元年度地域活動支援事業の完了について

資料No.1

(2) 自主的審議に係る提案について

資料No.2

### 5 事務連絡

### 6 閉 会

## 令和2年度地域活動支援事業【金谷区】 事業説明予定表

予定時間 (説明・質疑等)	事業 整理 No.	提案事業名	提案団体
17:10~17:30	1	滝寺自然公園整備と環境保全・保護 活動事業	滝寺まちづくり協議会
17:30~17:50	2	滝寺古文書(古地図)製版及び滝寺砦 古道の整備事業	滝寺歴史保存会
17:50~18:10	3	正善寺ダム周辺の紫陽花の維持管理 及び水質保全と環境美化事業	正善寺紫陽花会
18:10~18:30	4	金谷山太鼓継承・振興事業	高田西小学校後援会
18:30~18:40	— 休憩 (10分) —		
18:40~19:00	5	金谷地区児童のスポーツ振興及び子 供の健全育成を図る事業	上越南ミニバス教室
19:00~19:20	6	里道(旧後谷線)の整備事業	後谷・名水桜清水の会
19:20~19:40	7	金谷区飯支部の交通安全確保事業	上越交通安全協会飯支 部
19:40~20:00	8	黒田小学校区活動における安全確保 及び地域活性化事業	黒田小学校後援会

※説明終了後、採択を行います。

※上記予定時間は見込みであり、審査の進行状況により時間が前後する可能性があります。

## 令和元年度 地域活動支援事業実績報告【金谷区】

整理 No.	提案団体名	事業名
1	滝寺まちづくり協議会	滝寺自然公園整備と環境保全・保護活動事業
2	正善寺紫陽花会	正善寺ダム周辺のアジサイの維持管理及び、水質保全と環境美化事業
3	金谷地区振興協議会	金谷区全域の防犯灯LED化による住民の安全安心事業
4	金谷地域歴史を守る会	金谷区歴史観光開発町おこし事業
5	滝寺砦狼煙を上げる会	滝寺砦整備事業
6	後谷・名水桜清水の会	里道（旧後谷線）の整備事業
7	飯地区防犯協会	安全安心まちづくりの防犯活動強化事業
8	上越交通安全協会飯支部	金谷区飯支部の交通安全確保事業
9	青水会	グラウンド・ゴルフで地域を活性化させる事業
10	上越南ミニバス教室	金谷地区児童のスポーツ振興及び子どもの健全育成を図る事業
11	上越交通安全協会灰塚支部	金谷区（灰塚駐在所管内）の交通安全確保事業
12	黒田小学校後援会	金管演奏による黒田小学校区地域活性化事業
13	中ノ俣古道整備保存会	中ノ俣古道整備事業
14	上越クラブ	バレーボール文化の普及及び青少年健全育成事業
16	高田西小学校後援会	金谷山太鼓 継承・振興事業
17	上越若者みらい会議	金谷区地域活性プロジェクト事業

## 金谷区地域協議会自主的審議に係る提案書

金谷区地域協議会  
会長 村田 敏昭 様

提案者名 小林 雅史

下記事項について、上越市地域自治区の設置に関する条例第7条第1項の規定に基づき、審議するよう提案します。

## 記

審議する事項	金谷区の防災機能強化（避難所・装備・運営・人材等）
<p>内容</p> <p>※下記を参考に可能な範囲でご記入ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・提案理由</li> <li>・課題の背景</li> <li>・課題の現状</li> <li>・今後の見通し</li> <li>・地域、住民への影響</li> <li>・課題が生じている場所</li> <li>・期待する効果 等</li> </ul>	<p>1. 提案理由：近年、自然災害の発生頻度やその被害の深刻化は、これまでの常識をはるかに超えるものが多く、社会インフラの復旧に長時間を要する甚大な災害も少なくない。</p> <p>そのような背景の中、行政に対する防災機能強化の要望は高まる一方であるが、人材や費用面などから、即時に期待に応える対応は難しいのが実情であり、各町内会や地域防災組織などが、その機能を担う必要性も益々増大してきている。</p> <p>2. 課題の背景：上越市地域防災計画や、避難所マニュアルなどが示され、いざという時、我々がどう行動すべきか明確になってはいるが、各地の災害発生時の実情からは、避難所の開設に始まり、水道・トイレ・非常電源の確保など、様々な問題が表面化しているのもまた事実である。金谷区においても、10カ所の避難所が指定されており、各地域の防災訓練などにおいて使用され、周知されているが、上記の通り、様々な場面において、十分にその機能を果たせるものかは疑問も残り、地域として取り組むべき課題は多い。</p> <p>3. 課題の解決：今回提案するものは、金谷区でも、中核となるべく避難所を設定し、非常電源の確保・装備品の充実などを、金谷地区振興協議会が中心となり、地域支援事業として展開。実際の行動や様々なシミュレーションにより、更に高いレベルの実運用ノウハウの蓄積を目指したい。得られたノウハウを金谷区全域や、他の地域へも生かしたい。また、次世代を担う若者らが、主体的に行動する契機となれば、尚理想的かと。</p> <p style="text-align: center;"><u>町内会・住民・民間企業・消防団・自主防災組織・学校との連携</u></p> <p>※地理的な中核でなくとも、これまでの被害発生状況や地域の実情を踏まえ、テスト的に取り組み易いエリアを設定する。</p> <p>4. 地域・住民：避難所に指定されている施設は、学校などである場合が多く、当然、地域と学校・生徒との関わりは深い。この点を生かし、ボランティア体制の構築や、学校行事との連携、防災備蓄品の有効活用など、備蓄品を無駄にせず、循環させる取り組みも考えられる。行政だけに頼らず、『地域一体となって作り上げる防災』という意識を更に高める契機とするのが最大の目的。</p>

※本提案書は、審議の開始を希望する地域協議会開催予定日の 14 日前までにまちづくりセンターに提出してください。なお、緊急を要する事項の場合は、センターにご相談ください。



金谷区地域協議会自主的審議に係る提案書

金谷区地域協議会

会長 村田 敏昭 様

提案者名 小林 雅史

下記事項について、上越市地域自治区の設置に関する条例第7条第1項の規定に基づき、審議するよう提案します。

記

審議する事項	林道難波線 不法投棄物回収ボランティア
<p style="text-align: center;">内 容</p> <p>※下記を参考に可能な範囲でご記入ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・提案理由</li> <li>・課題の背景</li> <li>・課題の現状</li> <li>・今後の見通し</li> <li>・地域、住民への影響</li> <li>・課題が生じている場所</li> <li>・期待する効果 等</li> </ul>	<p>1. 提案理由：ここ数年、ボランティアの一員として、不法投棄物の回収に参加させて頂いております。10年以上も経過しているであろう埋まりかけた投棄物から、明らかに最近捨てられた生活ゴミまで。また、通行車からのポイ捨てとおぼしきゴミから、トラックで大量に捨てた痕跡など様々でした。活動の中で気付くのは、若者があまり参加していない実情です。不法投棄が無くなり、このような活動が不要になるのが理想かと思いますが、これまで、諸先輩方が継続されてきた活動を、人材難によって、停止させることになるとすれば、非常に残念な事です。</p> <p>2. 課題の解決：自然豊かな南場山に続くこの林道を美しく保つ為、金谷区の小学校などに呼び掛け、啓発ポスターを作製。しっかりとした看板を作り、要所に取り付ける。一連の活動を、金谷地区振興協議会の地域支援事業とする。</p> <p>各校内でコンテストをするもよし。共同制作するもよし。夏休みの課題と自由課題とよし。</p> <p>上り線：不法投棄しないで 的な呼びかけ 地域のボランティアが活動しています写真</p> <p>下り線：きれいな南葉山にまたきてね 的な呼びかけ</p> <p>子ども達の活動を取り込む事で、地域・保護者にも関心を持ってもらえる効果大</p> <p>ゆくゆくは、安全面など十分に配慮した上で、高校生などにも協力してもらえれば更に力強い。</p> <p>将来への人材育成、更に学校・学生の社会参加・社会貢献という意義も大きいかと。 ※運営サイドとしての参加も有益かと。</p>

※本提案書は、審議の開始を希望する地域協議会開催予定日の 14 日前までにまちづくりセンターに提出してください。なお、緊急を要する事項の場合は、センターにご相談ください。



金谷区地域協議会自主的審議に係る提案書

金谷区地域協議会  
会長 村田 敏昭 様

提案者名 小林 雅史

下記事項について、上越市地域自治区の設置に関する条例第7条第1項の規定に基づき、審議するよう提案します。

記

審議する事項	地域支援事業と楽器購入
<p>内容</p> <p>※下記を参考に可能な範囲でご記入ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・提案理由</li> <li>・課題の背景</li> <li>・課題の現状</li> <li>・今後の見通し</li> <li>・地域、住民への影響</li> <li>・課題が生じている場所</li> <li>・期待する効果 等</li> </ul>	<p>1. 提案理由：これまで、地域支援事業として、小学校・中学校単位での楽器購入などが行われた実績がいくつかある。小学校における金管楽器等の使用は、部活動のみでなく、学年・学校全体に及ぶ活動でもあり、地域活動との関わりも深い事などがその理由と思われる。中学校においては、部活動としての関わりが主となり、生徒全体に寄与するとは言い難い面もあるが、地域協議会の判断によっては、支援している実績もいくつかある。全ての地域協議会が同じ判断を下している訳ではなく、不公平ではないかとの声があるのもまた事実である。</p> <p>2. 課題の背景：中学校の部活動で使用する楽器に関しては、どの学校もメンテナンス費用や、不足している楽器の工面に苦労されています。部員が自費で賄う面もありますが、当然限界があり、それら費用面より、吹奏楽部をあきらめるとい話しもあります。しかし、数ある部活動の中で、吹奏楽部のみを特別に扱う事も難しく、これまでも、後援会組織や、周年事業での寄付金などで支えて頂いてきた面が大きいかと。中学校の場合、全日本吹奏楽コンクールに出場するのを目標に活動している学校がほとんどで、言い換えれば、県内の中学校は全てがライバルとなります。楽器の良し悪しや、メンテナンスで、音色は極端に変わるものであり、一部の地域のみが、地域支援事業でサポートを受けるのは、やはり不公平感が強いのかとも思います。</p> <p>3. 課題の解決：①市に対しては、部活動に対する予算の拡充をお願い致します。②中学校の楽器購入に関し、各地区共通のガイドラインを作成すべきかと考えます。それを踏まえた上で、最終判断は地域協議会に任せるのもありかと。③ふるさと納税に『母校部活動支援』を追加し、積極的に展開する。各中学校とも数十年以上の歴史があり、ふるさとを離れてはいるが、母校の力になりたいと考えている卒業生は少なくないかと。母校の近況を広く発信すると共に、母校支援の輪を広げていくべきかと考えます。</p>

※本提案書は、審議の開始を希望する地域協議会開催予定日の 14 日前までにまちづくりセンターに提出してください。なお、緊急を要する事項の場合は、センターにご相談ください。

